

市民しんぶん伏見区版

2021

7/15

きらり伏見



伏見区ホームページアドレス <https://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi/>

伏見区誕生90周年！ 伏見区×地域企業、大学のコラボで伏見の魅力発見！



地域の団体や大学等との連携により開催される「伏見連続講座—ふれて、しって、みて伏見—」。今回は伏見区誕生90周年を記念して、区内の企業及び大学のご協力を得て、多彩な伏見の魅力を発見できる講座を開催します。ぜひご参加ください。



高校生対象・無料

高校生が世界で活躍する企業に触れる！ ～京セラ株式会社施設見学会～

この度、伏見区役所と京セラ株式会社との連携により、未来を担う高校生が最先端技術や世界に通用する経営に触れる見学会を開催します。伏見区の企業が世界の第一線で活躍している姿を知っていただける機会ですので、ぜひご参加ください。

日時 8月24日(火)13時30分～16時30分
場所 京セラ株式会社 本社(伏見区竹田鳥羽殿町6番地)

- 内容** (1)京セラファインセラミック館の見学
今や現代社会になくてはならない素材「ファインセラミックス」の歩みと最先端の技術開発の様子を学びます。
- (2)稲盛ライブラリーの見学
創業者である稲盛和夫氏の人生とともに、世界に通用する経営の根幹となる人生哲学、経営哲学を学びます。



※本社内の京セラギャラリーも見学予定

対象 区内に在住または通学する高校生

定員 30名(多数抽選)

申込み 7月15日～8月9日に区ホームページから住所、電話番号、メールアドレス、応募者の氏名、ふりがな、通学している高校名を入力



入力フォームはこちら



小学生対象・無料

「伏見の名水で宇治茶を淹れる」 親子ワークショップ

京都文教大学地域連携学生プロジェクト「宇治☆茶レンジャー」共催の下、伏見の名水「さかみづ」で宇治茶を淹れるワークショップを開催します。当日は月桂冠大倉記念館 西岡館長による「さかみづ」の紹介をはじめ、「宇治☆茶レンジャー」の大学生が講師となり、ゲームやお茶淹れ体験等を通じて、伏見の水と宇治のお茶について、親子で楽しく学びましょう！



日時 8月9日(月・振休)
13時30分～15時

場所 伏見区役所1階ホール

内容 伏見の名水・宇治茶の紹介、お茶に関連したゲーム、お茶の淹れ方体験

対象 区内に在住の小中学生(要保護者同伴)

定員 10組(各組:児童1名、保護者1名)
多数抽選 ※当選者のみ連絡

申込み 7月15日～7月25日に京都いつでもコール(3面上部参照)へ



伏見区誕生90周年記念歴史コラム！

第1回「多様性の歴史」

伏見区が誕生した90年前、区の南には芦ノ湖ほどの面積の巨椋池があり、深草を中心に陸軍第16師団の軍用地が点在し、醍醐には街道と田園風景が広がっていました。三栖開門が完成し、ここを大阪との蒸気船が通るようになっていた頃です。

伏見港の「みなとオアシス」への登録など数えきれないことがありました。



たゆまざる鉄道の变化
「1970年廃止の市電伏見線と中書島駅」
(西山修朗氏撮影 伏見駿河屋所蔵)



たゆまざる道路の変化
「高速道路開通前の油小路通と津知橋通」
(1987年筆者撮影)

そして、歴史をさかのぼれば、醍醐は山科や宇治市東部とともに宇治郡、神川は向日市などとともに乙訓郡を構成していた時代があります。江戸時代、淀には淀藩の城下町が形成され、納所や美豆などとなっていました。旧伏見市、桃山、向島、深草、竹田、下鳥羽、横大路などは、同じ紀伊郡に属していましたが、地域の氏神である御香宮、藤森神社、城南宮、三栖神社、田中神社などを中心にそれぞれのコミュニティがありました。



若林 正博
(伏見城研究会)

伏見区生まれ。伏見の地域史を研究し、2013年以降、150回を超えるフィールドワークと講演を行う。研究だけでなく、地域づくりとの連携を念頭に、伏見の歴史に関する講演やテレビ・ラジオの出演、監修等にボランティアで携わる。

連載は「看聞日記」の時代(室町時代)、徳川の伏見城(江戸時代初期)、水運の伏見(熊野詣から疏水まで)、幻の伏見区横断鉄道(戦前の鉄道計画)を予定しています。

問合せ 伏見区役所企画担当(☎611-1295)

新型コロナワクチン接種に関する問合せは、
・市コールセンター(電話:950-0808
又は0570-040808)
・市ポータルサイト(右のQRコード)へ



新型コロナウイルス感染予防対策(人との間隔の確保、マスク着用、手洗いなど)の徹底を！

※本紙に掲載の内容は、今後、予告なく変更になる場合があります。
※区役所等では、郵送で申請できる場合があります。問合せ先に確認を！